

J-REIT:2019年2月の投資部門別売買動向 ～外国人投資家の買い越し傾向が続く～

2019年3月27日

<外国人投資家が大幅に買い越し>

2019年2月のJ-REITの投資部門別売買動向は、外国人投資家が438億円、ETFへの資金流入が大部分を占めると考えられる証券会社の自己売買部門が426億円、銀行が48億円の買い越しとなりました。一方、投資信託が494億円、個人投資家が398億円の売り越しとなりました。

■外国人投資家は6ヶ月連続で買い越し

外国人投資家は2018年9月以降6ヶ月連続でJ-REITを買い越し、この期間の累計買越金額は2,475億円となりました。引き続き良好な事業環境、魅力的な配当水準を背景に、J-REITを選好したと考えられます。

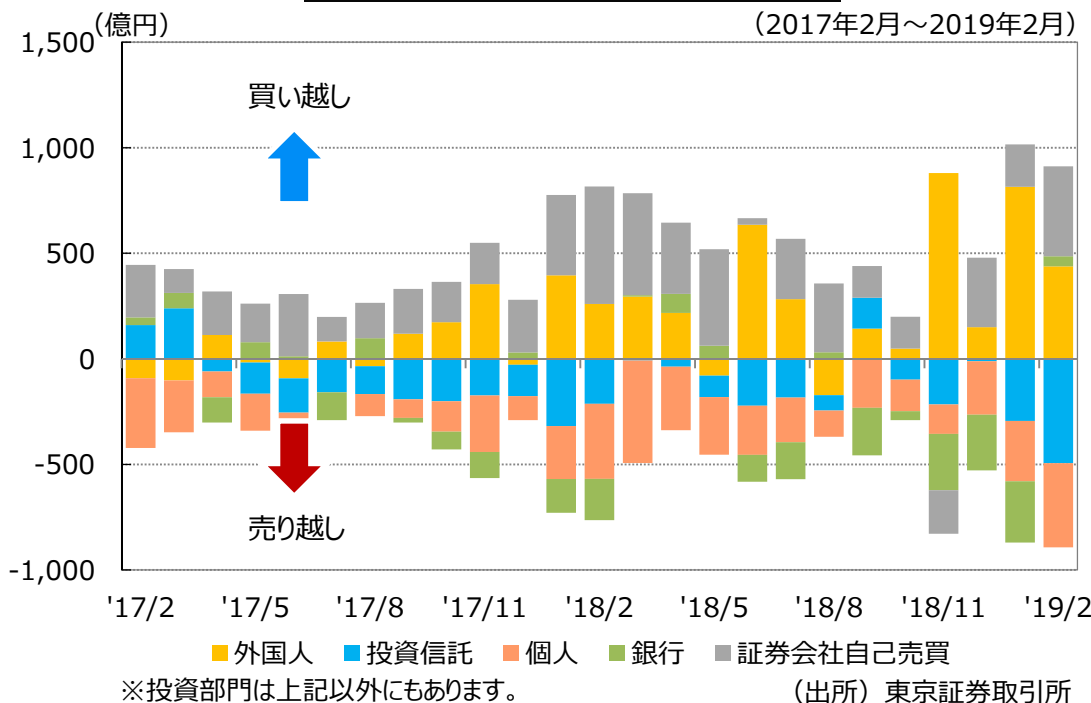
■銀行は売り越し傾向が落ち着く

銀行は48億円の買い越しですが、このうち日銀のJ-REIT買い入れ分が35億円程度含まれます。実際の買越金額は少額にとどまりますが、1月まで続いた売り越し傾向が落ち着いたといえます。

■投資信託は売り越し傾向が続く

投資信託部門は、494億円の売り越しとなり、1月と比べて売越幅が拡大しました。J-REIT市場が堅調に推移していることから、利益確定のための売却が増加したことが考えられます。

J-REITの主要投資部門別売買動向



当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <https://www.daiwa-am.co.jp/>